

病床数等の変更について

医療機関名	南魚沼市民病院			
変更内容	急性期機能病床64床のうち20床を地域包括ケア病床に転換			
変更理由	2040年に向けた新たな地域医療構想では、限られた医療資源の中で質の高い医療を持続させるため、医療機関がそれぞれの役割を明確化し、地域で完結する医療体制を構築することが求められている。 この方針を踏まえ、圏域の医療提供体制や患者動向を把握するため、本年4月に十日町病院および小出病院を訪問し、意見交換を行った。その結果、圏域内における当院の役割としては、従前の手術機能は維持しつつ、今後は回復期機能病床、とりわけ在宅復帰支援を担う地域包括ケア病床の更なる機能強化が求められていると判断したため。			
変更予定時期	令和8年9月1日			
病床数 (一般病床及び療養病床)		現状 (a)	変更後 (b)	増減数 (c)=(b)-(a)
	高度急性期	6	6	0
	急性期	64	44	▲ 20
	回復期	地域包括ケア	54	20
		回復期リハ	48	0
	小計	82	102	20
	慢性期	0		0
	合計	152	152	0
補助金等の活用 (予定含む)	なし			
その他関連事項	今後、高齢者救急に係る医療体制を確保するとともに、令和8年4月から令和9年3月までの実績を踏まえ、令和9年5月1日より1病棟48床を急性期機能病床のカテゴリとしての地域包括医療病棟へ転換する予定である。			

病棟ごとの医療機能

病棟	医療機能の名称	医療機能の内容	R8.7.1	R8.9.1	R9.5.1	備考
1 病棟	高度急性期	ハイケアユニット	6	6	0	R9.5.1以降ハイケアユニット入院医療管理料は算定しないが、院内標榜として引き続き運用していくことを検討
	急性期	急性期一般 ※R9.5.1から地域包括医療病棟	42	42	48	
2 病棟	急性期	急性期一般	22	2	0	R9.5.1以降の運用は、本件の変更を踏まえ決定する予定
	回復期	地域包括ケア	34	54	56	同上
3 病棟	回復期	回復期リハ	48	48	48	
合計			152	152	152	